

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスはっぴーりーふ		公表日		令和8年5月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・通常は療育活動の内容に応じてスペースを分けているが突発的な状況で別スペースが必要になった時はスヌーズレンルーム・事務室を活用している。 ・2つの部屋と外に分けて活動を行っている。	・静かに過ごせる空間がもう少しあった方が良いと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		・人員が送迎にまわり、事業所内での見守り支援が手薄になるときがある。あと一人職員がいたら気持ち的に余裕が生まれると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・スケジュールの書き出しや視覚化された情報の張り出しをしている。	・掲示物が古いものがあり統一されていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・活動内容によって机を寄せたり空間を広くとっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・スヌーズレンルームの配置。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・昼MTG、月例MTGその都度。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・集計したものを掲示している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・昼MTG、月例MTGその都度。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	(無回答3) ・同一法人別事業所より評価。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・月一回の勉強会や、外部、オンライン研修の受講。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	(無回答1)	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・昼MTG、月例MTGにおいて、事例検討することあり。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		・児童の情報が個人ファイルにまとめられているが、一読の周知が必要である。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	(無回答1) ・チームで行う事もあるが、個人の場合もある。昼MTG月例MTGその都度内容や狙い支援方法について共有、把握するよう努めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・疑義が生じた時に相談共有。 ・実施プログラムは日々記録を残し、内容が偏らないように留意している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・昼MTGで活動内容の共有が行われている。 ・活動について話し合い、療育についてどう役に立つか説明し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・申し送りノートグループLINE送付・共有している。 ・次の日の昼MTGで、前日の出来事等を必ず報告が行われている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・支援に困難が生じた時は、申し送りノートを活用し、話し合い、改善に努めている。	・対応に困難が生じた支援に関しては事例を集め、検証する機会をもつ。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・昼MTG等で児童の様子を多視点からみられるよう、職員間で話し合う機会がある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0	・活動内容の柔軟な展開。	・利用日固定の児童が、特定の活動に偏らない工夫が必要。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・自己決定に繋がる声掛け。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・児発管（OJT含め）が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	(無回答3)	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・年間行事予定表をいただく。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	(無回答2) ・児童発達支援事業所	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	(無回答2) ・現在対象の児童なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	(無回答4) ・研修会への参加	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	(無回答1)	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	(無回答1)	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・降所送迎時の伝達だけでなく、LINEや連絡帳などでも様子を伝え、お問合せ等頂いている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	(無回答1) ・親の会開催	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・主に契約時	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・契約時・更新時	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	(無回答3) ・主に降所送迎時や電話にて。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	(無回答1) ・適宜、個人面談・電話対応	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	(無回答2) ・親の会開催によるペアレントトレーニング、リトミック音楽発表会・秋祭り開催時のきょうだい児間交流の場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・申し送りノートグループLINE送付・職員間共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・SNSの活用。 ・LEAF発行	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・シュレッダーがすぐに使える環境にあり、職員間でも注意喚起も行われている。重要な情報は鍵付きキャビネットにて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	(無回答1) ・秋祭り、リトミック音楽発表会開催を幅広く周知している（他事業所・相談支援事業所等）	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	・運営マニュアル作成し、いつでも確認できる場所に設置している。	・訓練時に欠席した児童・家族への周知を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	4		・ミーティングにおいて、運営マニュアルの確認を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・保護者より、成育状況・既往症の履歴を記入していただき、職員間確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	(無回答1) ・保護者より、成育状況・既往症の履歴を記入していただき、職員間確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	(無回答1) ・安全計画は作成している。	・職員間の周知が足りていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	(無回答1) ・主に契約時に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・些細な事でもヒヤリハットへの記入・その都度共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	(無回答2) ・身体拘束は行っていない。		